

平成25年 教育委員会第8回定例会 秘密会 会議録

日 時 平成25年5月14日（火）

午後3時30分～午後3時52分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 2 報告

【子ども総務課】

(3) 平成25年度子ども・教育部組織目標管理シート【政策形成過程終了につき、公開】

出席委員（5名）

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	近藤 明義
教育委員	市川 正
教育委員	古川 紀子
教育長	山崎 芳明

出席職員（9名）

子ども・教育部長	大畠 康平
参事（子ども健康担当）	田中 敦子
子ども総務課長	村木 久人
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども施設課長	辰島 健
子ども支援課長	亀割 岳彦
児童・家庭支援センター所長	山下 律子
学務課長	依田 昭夫
指導課長	佐藤 興二

欠席委員（0名）

欠席職員（1名）

次世代育成担当部長	高橋 誠一郎
-----------	--------

書記（2名）

総務係長	久保 俊一
総務係員	田口 有美子

中川委員長 | それでは、再開したいと思います。

ただいまから、平成25年教育委員会第8回定例会、秘密会を開催いたします。

## ◎日程第2 報告

### 子ども総務課

#### (3) 平成25年度子ども・教育部組織目標管理シート

中川委員長

日程第2、報告に入ります。

報告は1件あります。

子ども総務課長より報告をお願いいたします。

子ども総務課長

それでは、組織目標管理シート、こちらについてのご報告を申し上げます。

内容は2つございまして、1つは平成24年度の組織目標の達成状況、こちら、お手元の資料、A4の用紙で縦になっている2枚つづりのものでございます。もう一つが、平成25年度の組織目標管理シート、こちらはA3で横になっているものが今年度のものということになります。

こちら、毎年ご報告申し上げますが、年度によって若干様式等が異なっておりまして、少しわかりにくいところもあるかと思いますが、ご容赦いただきたいと思います。基本的には、左側から番号がついていまして、あと、区で作っております基本計画に示された内容につきまして、各年度でどのような方針で予算が編成され、それについてどのように実現していくか、また実現していったかということに記載したものとご理解いただければと思います。

それでは、最初に、平成24年度の実施状況、平成24年度組織目標管理兼事務事業評価シートについて簡単にご説明させていただきます。

資料の一番左の欄に記載されました項目の番号順に、概要を少しご説明いたします。

最初に、1番目と2番目ですけど、保育供給量の拡大を図り、保育園の待機児童ゼロを目指す取り組みについてです。

1番目の緊急保育施設補助金の実績欄のところに記載しておりますが、神田地区におきましては、保育供給量が比較的安定してきております。また、2番目の家庭的保育事業、いわゆる「保育ママ」につきましては、平成24年11月に、飯田橋駅近接のマンション1室に家庭的保育施設「小さな家」を、計画どおり整備することができました。

次に、3番目の東日本大震災の教訓を踏まえた防災教育の推進についてですが、実績欄に記載してございますように、全小学校における防災学習施設での体験学習、全中学校・中等教育学校における救命講習会等の実施を行いました。

次に、4番目の麴町地区の一時預かり保育の供給量拡大についてですが、こちらは事業の周知が図られたことによりまして、利用数は通増しつつあり

ますが、それに伴いまして、お断りする件数も増加傾向にあるなど、問題も生じておりますので、引き続きの対応が必要と考えております。

次に、発達障害等、特別な支援が必要なお子さんに対する支援についてですが、5番目の児童療育事業につきましては、子ども発達センター「さくらキッズ」を開設し、低年齢など、新たに4グループの指導を開始しました。

次の6番目、障害児放課後等支援事業については、実績等をご覧いただきたいと思います。

次に、7番目の児童館施設のサービス評価ですが、こちらにつきましては先般の教育委員会でご報告させていただきましたとおりです。

8番目からは、個性を伸ばし、生きる力を育む教育の推進についてということで記載させていただいております。スクールライフ・サポーター、特色ある教育活動、中学校土曜学習教室、就学前教育の推進等の事業につきまして、それぞれ目標を掲げて実施してきたところでございます。

実績につきましては、それぞれの記載内容をご覧いただきたいと思います。

12番目、子どもの遊び場確保の取り組みについてです。こちらにつきましては、先ほどもご報告させていただきましたが、検討会の設置、試行等を経て、「子どもの遊び場に関する基本条例」を制定しております。

13番目からは、学校等、子ども関連施設の整備について記載しております。九段小学校・幼稚園、お茶の水小学校・幼稚園、神田一橋中学校、九段中等教育学校について、それぞれ学校施設の改善、改修等について記載しております。

それぞれの達成状況等につきましては、実績欄をご覧いただきたいと思います。

最後になりますが、17番目、幼保一体施設の整備についてです。こちら、区立千代田小学校併設の幼稚園に附属する保育所を設置したマミーズエンジェル千代田保育園が4月に開設しております。

平成24年度の実施状況につきましては以上です。

次に、本年度、平成25年度の組織目標についての説明に移りたいと思います。

A3の横の資料をご覧いただきたいと思います。

最初に、1番目から4番目までは、待機児童についての取り組みです。待機児ゼロの継続を目指しまして、認証保育所等への補助事業、定期利用保育事業、家庭的保育事業等を実施していきます。

また、4番目、麴町保育園の園舎整備ですが、こちらについては、昨年度来いろいろ議論等ございましたが、引き続き地域の関係者と協議を行いながら、実施設計に着手してまいります。

次に、5番目、6番目は学童クラブ等についての取り組みです。放課後子ども教室につきましては、本年度は、運営委員会に民生児童委員、青少年委員をメンバーに加えていきます。また、学校内学童クラブにつきましては、

定員拡大を図るとともに、夜9時までの預かりができる民設民営の学童クラブの誘致を検討していきます。

7番目は、一時預かり保育についてです。昨年に引き続きまして、利用時間の拡大を図っていきたいと考えております。

8番目は、大きな社会問題ともなっておりますいじめ問題等の撲滅についてですが、こちらについては、子どもたちのSOSを見逃さず、未然防止・早期発見・早期対応ができるよう、学校、家庭、教育、ともに手を携え、いじめ相談ホットライン、中学校版スクールライフサポーター、スクールソーシャルワーカー等による取り組みを行っていきます。

9番目の特色ある教育活動につきましては、引き続き学力向上や体験的な学習等の創意工夫ある教育活動を展開することを通して、教育内容の特色化を推進します。

10番目の子どもの遊び場確保の取り組みにつきましては、昨年度末に成立した条例に基づきまして、遊び場の運営等を実施していくとともに、遊び場の拡大を検討していきます。

11番目からは、学校施設の整備についてになります。九段小学校・幼稚園につきましては、プロポーザルを実施し、設計者を選定していきます。

お茶の水小学校・幼稚園につきましては、周辺街づくりの状況を踏まえた上で、整備の方向性について関係部署と協議していきます。

神田一橋中学校につきましては、今年度は校舎の改修工事に着手することになります。

最後の14番目ですが、親と子の絆プログラム、こちらにつきましては、本年度から新たに実施するものですが、これも先般の教育委員会でご説明させておりますので、説明については省略させていただきます。

今年度の組織目標については以上となります。

なお、本日ご説明いただきました内容につきましては、他の部の部分も含めまして、6月ごろまでに政策経営部のほうで一斉に公開することになっております。

長くなりましたが、説明については以上となります。

中川委員長

ありがとうございました。

ご意見、ご質問に入る前に、公開する期日についてですけれども、政策経営部の……

子ども総務課長

公開の期日につきましては、政策経営部で、庁内の組織目標を公開する時期にあわせて行う形にしたいと思います。

中川委員長

それにつきまして、そのように取り計らってよろしいかどうか、ご意見を伺いたいと思いますが、よろしいですか。

市川委員

ちょっとお聞きしたいんですけども、最初に。平成24年度では、九段中等教育学校の通路、これは残念ながら難しくできなかったというふうに書いてありますね。これ、平成25年度はどうなんですか。何も書いていないんですが。

子ども総務課長 はい。こちらにつきましては、本年度も引き続き、地元との調整等をしながら、合意を得た上で、橋の設計、建設に着手していくような方向で考えておりますが、今回載せなかったことにつきましては、これはやっている事業全てを載せるということではなくて、区長とか政策経営部との相談の上、主要な事業の方向性について載せていくということなので、九段中等教育学校の連絡橋については、この表には掲載しておりませんが、事業としては現在も検討してやっていくという、そういった形になっております。

市川委員 載せない理由はそれでわかりましたけども。これ、あそこの学校ができたときからの課題なんですよ。教育委員会の中でも、私は反対のほうだったんですけれども、将来のことを考えてやむを得ないということで、通路をつくるということで一致した意見になったんですよ。それからもう何年たつんですかね。どういう方がどういうふうに対処をされているかというような情報も、この中で報告を受けています。ぜひ、もう5年も6年もそのままになっているというのは、やっぱり問題があるので。確かに、地域の住民の方が誰も反対しないという中で工事ができればいいんですけども、なかなか今はそういうわけにはいかないんだろうと思うんですね。ですから、一定の時期を見て、踏み切ることが必要だろうと。これも何回かこの委員会で申し上げているんですが、ご説明を聞くと、平成25年度に書いていないということと事業をやらないということとは別だよというお答えだったんですが。そのあたりもぜひ進めていただきたいなという気持ちがあります。

中川委員長 そうですね。よろしくお願ひします。

市川委員 平成25年度のことで、お茶の水小学校の用地に係る問題。これもこの委員会で報告をいただいて、どんな状況になっているかということ、極めて大事だというお話を伺ったんですが、その時点からは、もう半年くらい経つと思いますが、何か進展があるのでしょうか。

子ども施設課長 今年度、特に大きな進展というのはまだ見られておりませんというのが正直なところです。引き続き、部内でも今検討に取りかかっているところではありますけれども、まちづくりの状況等々を踏まえつつ、教育環境の充実という視点、教育的な視点でどう進めていくかということを引き続き検討しているところでございます。

市川委員 民有の土地と、それから明治大学の土地ですか、それと区立のお茶の水小学校、そのあたりについても、話し合いは、具体的なことは無理でしょうけれども、話が進んでいるのか、それともそのままという、そのことだけで結構なんです。

子ども施設課長 昨年度で申しますと、関係者が集まりまして協議会というような組織をつくって、その場でこのお茶の水小学校・幼稚園を含む周辺地域、猿楽町地域についてのまちづくりについて、現状あるいは課題について意見交換を一度させていただいたところでありまして。



児童・家庭支援センター所長

を検討しますということなのですが、これはもう進行中でしょうか。

現在、具体的に事業者と調整をしているところでございます。

二番町と同じような形態で。

中川委員長  
教 育 長

そうですか。

もう少し具体的に説明を。

児童・家庭支援センター所長

具体的に言いますと、1番のところの一番最初に、ポピンズナーサリースクール一番町に関するが出ていますが、こちらの保育園が入っているビルが、少しフロアが空きまして、そこの1フロアを使って、学童クラブを今誘致しようと検討しているところです。

中川委員長

わかりました。

それと、3番の家庭的保育事業の募集の中に、「麴町・四谷地区（上智大学）」というのが出ていますが、この上智大学というのはどういうことなんでしょう。

子ども支援課長

家庭的保育事業につきましては、小規模、5人までのお子さんを預かるという事業で、上智大学には今現在、学生もしくは教員用の自分たちだけの保育施設があるんですけども、そこを廃止にして、せっきくの保育施設があるので、その施設を活用して、区で家庭的保育事業に転換できないかというお話が来ていますので、年度末に向けてその実施の可能性ですとか、そういうことを詰めていくということで、上智大学と関わらせていただいております。

中川委員長

わかりました。

通信病院のひまわり保育園というのがありましたけど、あれと同じようなことですか。

子ども支援課長

そうですね。規模はもっと小さいですけど、ああいう感じの認可外の保育園です。

中川委員長

細かいこと、ありがとうございました。

何かほかにありますか。

古川委員

平成24年度の達成状況の、10番の中学校の土曜学習教室ですが、目標が、参加した生徒の第一志望校の合格率の数字まで設定してありました。参加後に、生徒さんたちにアンケートをとったともあるんですけど、実際、合格率の達成度やアンケートの内容は、どのようなものでしたか。

指 導 課 長

平成24年度の成果指標の目標値だったんですけども、参加生徒のうち第一志望校への合格率100%という指標を出したのですが、この中学校土曜学習教室だけをもってして、この第一志望校への合格率というのを推し量るのはなかなか難しいであろうと。当然、日常的な学校の授業、あるいは放課後の自主的な家庭学習だとか、あるいは民間の塾での学習だとかトータルな学力形成に基づいた第一志望校への合格率というようなことが、多分推測されるんだろうと思ひまして、成果指標の妥当性ということも鑑みまして、こちらは、今年度から成果指標の見直しをさせていただきます。その成果指標を、今度どうするのかということに関しましては、この中学校土曜学習教

室の満足度、生徒による満足度、自分自身の学力が高まったことによって、土曜学習教室の実施した成果があったと。あるいは、なかなか思うように伸びなかったとか、教え方が上手じゃないとかというようなことで、マイナス評価もいただけたと思うので、そのあたりのところを成果指標にして、満足度でとりたいと思っております。

古川委員 わかりました。ありがとうございます。

中川委員長 ほかにはご意見、ご質問はいかがでしょうか。

(なし)

中川委員長 では、本日の日程は全て終了しましたので、定例会を閉会したいと思います。ありがとうございました。